国営明石海峡公園 神戸地区
あいな里山公園

みごろの花&生きもの 散策コースマップ 2025

8月中旬～9月中旬

季節のおすすめ散策コース♪（ゆっくり歩いて1時間）
おてがるコース♪（ゆっくり歩いて30分）

トノサマガエル（アカガエル科）
緑に黒い斑点模様が特徴的なカエル。田んぼに水が張られる頃、繁殖期を迎えます。

ネキトンボ（トンボ科）
平地の池や水田などで暮らす、全身真っ赤なトンボ。

コバネイナゴ（バッタ科）
日本全土にふつうに見られるイナゴの仲間。稲を食べることから、害虫として嫌われます。佃煮にして食べることができます。

ショウリョウバッタ（バッタ科）
明るい草地で暮らしている細長い葉っぱのような姿をしたバッタ。メスはオスの2倍ほど大きくなります。

アサガオ（ヒルガオ科）
この白いアサガオは、伝庫の家の前家主が、生薬「牽牛子（けんごし）」を作っておられたアサガオです。毎年種を採取して栽培を続けています。

マルバハギ（マメ科）
丸い葉っぱのハギ。花序が短く、葉の間に埋もれるように花が咲くのが特徴。秋の七草。（9月～）

カワラナデシコ（ナデシコ科）
別名ヤマトナデシコ。日本女性の美しさを、昔はこの花に例えて表現していました。秋の七草の一つ。

タコノアシ（タコノアシ科）
タコの足を引っくり返したような形からこの名前がつきました。秋の紅葉シーズンには赤く色づき、まるでゆでダコのよう。

おすすめスポット

里山美林散策路 ～緑陰の散策～
棚田景観を、木陰より見下ろしながら散策ができます。

キキョウ（キキョウ科）
秋の七草の「あさがお」はキキョウのこと。夏から咲きはじめます。

ススキ（イネ科）
秋の草地を代表する植物。秋の七草の尾花です。藍那では、茅葺屋根の材料として利用されてきました。（9月～）

ミソハギ（ミソハギ科）
"みそぎ"の儀式に使うことが名前の由来だそう。ちょうどお盆のころに咲くので、お供えの花としてもよく使います。

キンミズヒキ（バラ科）
黄色い小さな花が集まって咲く様子を、金色の水引に見立てた名前。

フジバカマ（キク科）
秋の七草の一つ。古い時代に中国から持ち込まれたものといわれています。葉や茎を乾燥させると、桜もちのようないい香りがします。

オミナエシ（スイカズラ科）
秋の七草の一つ。漢字では「女郎花」と書きます。しなやかな立ち姿を女性に例えたのかもしれませんね。

クズ（マメ科）
秋の七草の一つ。根がクズ粉や葛根湯の原料となりますが、繁茂しすぎて困ることも。

ヒヨドリバナ（キク科）
ヒヨドリが鳴く頃に開花することからこの名がついたそうな。フジバカマにとてもよく似ています。

ゲンノショウコ（フウロソウ科）
昔から整腸薬として重宝されてきた野草。